

平成 27 年 8 月 25 日

自由民主党政務調査会厚生労働部会
看護問題小委員会委員長 田村憲久様

公益社団法人 全国助産師教育協議会
会長 井村 真澄



平成 28 年度予算編成に向けた要望書

1. 質の高い助産師の養成に向けて、助産学実習を受け入れている施設に対して実習指導者を確保するための予算措置を要望します。

【要望の理由】

少子化が加速する時代にあって、「子どもの健全な育成」がわが国の重要課題になっています。

生命誕生の瞬間に立ち会う助産師は、妊娠から出産・子育てまで、継続的に母親や子ども、その家族を最も身近で支える立場にあり、人間性が豊かで、知識、技術を兼ね備え、質の高い助産ケアを提供できる有能な人材が求められています。

有能な助産師を育てるには、実践を学ぶに適切な実習環境が必須です。昨今の実習現場では、学生に対して直接、効果的に指導する実習指導者の不足が常態化しています。そのため、必要数の助産師を養成できない事態が生じており、実習指導者の確保は教育現場の喫緊の課題となっています。

国民の健康と、健全な母子およびその家族の育成に貢献できる助産師育成のために、是非、助産学実習において適当数の実習指導者を配置できるよう、助産学実習を受け入れている施設に対して実習指導者を確保するための予算措置を強く要望いたします。